

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（玄海原子力発電所第3号機及び第4号機 設計及び工事の計画の変更認可（海水ポンプ取替工事））【10】」

2. 日時：令和3年10月6日（水） 18時00分～20時20分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関企画調査官、鈴木主任安全審査官、西内安全審査官、  
岩野審査チーム員

九州電力株式会社：

原子力発電本部 原子力建設部長※ 他13名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

・資料－1 玄海3/4号機 海水ポンプ取替工事に係る設工認変認 説明事項リスト

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁のイワノです。それでは玄海 34 号機海水ポンプ取替工事に係る石膏にへん人のヒアリングを始めたいと思います。それではまず、九州電力のほうから説明をお願いします。
0:00:19	すいません。九州電力のテラタバですけども。
0:00:23	説明をさせていただきたいと思います。
0:00:27	まず説明事項率等をの一番なんですけども、内としてはほぼ 5-8 ページなんですけど、また今性評価において厳しくなる旨ということで、0.1 ミリ。
0:00:43	を用いることはもう閉塞両方の観点で最も厳しい条件であるとあるようにということで修文を追加しております。
0:00:50	続きまして、補足説明資料の 5 号なんですけども、メーカー知見ということで、海水ポンプの適用できるについて追記ということで 5-14 ページに記載させていただいておりますが、説明内容のコストとしましては、需給行けないば軸方向に障害物となるような凹凸がないため、上昇量下降流、
0:01:09	ということで粒子の速度に差が出たとしても濃度に差は出ないと考えてますので、変則に影響しないという旨の追記をさせていただいております。
0:01:18	三番目なんですけども、この 5-16 で別途説明文書にある濃度がスーパーセルモードであることを明記させていただいております。
0:01:29	で、この 56 の 4 番目のコメントなんですけども、今まで受けに増資なくなどが関係する論文等を提示するというので、臨界流系についてはメーカー知見に基づき地区規制記載しておりましたが、テフロン材に対する具体的な臨界流速示す。
0:01:48	公開文献のほうが名かつ経理説明性が増すと判断しまして、補足説明資料の記載を修正追記しました。臨界流の文献としましては浅田直長の摩耗の 148 から 150 ページの記載が参考になるということで書かせます。
0:02:05	ちょっと補足で、この内容についてはまた後程説明させていただきます。
0:02:11	巢鴨 5 番目なんですけどもその流動有形濃度に関して摩耗閉塞の観点から網羅的に評価設計していることが確認できるまとめを追加するというので、補足説明資料のほうに追加しております。
0:02:25	4 番目の臨界流系の話なんですけども、今回テフロン材ということで、臨界流系。
0:02:39	の値を記載させていただいております。
0:02:42	まず臨界流系に関してはですね、二元暴れの元佐賀プレス摩耗ということで 3 ペーパーみたいな状態が 2 件がプレス部で今回の砂の摩耗に関するコロコロ動くような砂が

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:59	原因で生じラブレシーバおばさん上アグレッシブはもっと行っております。二元と3元で今回提示させていただいたように減のほうの数字を記載させていただいておりますが、
0:03:14	笹田もそのですね本の中にはあるんですけども
0:03:18	若干
0:03:21	人間より3弁の方から臨界粒径のほうは大きくなるというのが書かれておりますがちょっと私は確認したところで最大の
0:03:30	25%5分の1ぐらいの大きさは大きくなってはいるんですけどもほぼ変わらないで、それに比べてですねこれ持たれ笹田の中にあるんですけども、潤滑か今回ですねと。
0:03:45	プラスチックのテフロン臨界流系を記載させていただいているものは無潤滑
0:03:51	水がない状態乾燥状態でやってみる実験になるんですけども。
0:03:55	実際はですね今回は海盆パーシ潤滑水がある状態で回ってきますので、分割かではですね、臨界粒径がこう下がっていくということはありませんのでその差し引きとしてへのさ潤滑課の方がですね大きく下がってるっていうのがちょっとわかっておりますのでそう。
0:04:14	そういう意味で、今はにぎわううれしく臨界粒径というものを記載させていただいております。
0:04:22	で、えっとですね、
0:04:25	はい。
0:04:26	一応以上になるんですけども別途お送りしてます。アグレッシブパイプ路地協会の
0:04:34	本とかですね、そういうのっていうのは今ご覧になれる状況にあるんでしょうかそちらの話はしないほうがよろしいでしょうか。
0:04:42	すいません。説明できる範囲で説明を
0:04:48	していただければと思います。ちょっとその資料は今全員は持ってないんですよ。ただこの式については、
0:04:58	です。
0:05:03	プラスチックの渡って摩耗の資料の
0:05:07	17ページのところに、セキについては、
0:05:10	海底、
0:05:12	あるので、もしこうこの式を使って説明ができるのであればちょっと説明できる範囲で紹介していただきたい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:21	はい 9 電のテラタです。確かにそうですね、すみません、ちょっとそちらの方が確かに落としてたんですけども、そちらで説明をさせていただいていいですか、トップお待ちください。
0:05:36	うん。
0:05:37	はい。
0:05:45	規制庁のイワノです。これは荷重が入ってないから難しいとかそういうことでしょうか。ちょっと別途資料今確認しておりますお待ちください。ページで言うと、ちょっとお待ちください。です。
0:06:00	ちょっと、
0:06:02	ページで言うと 14 ページじゃ下のページ番号で言うと 14 ページだと思うんですけどそのページを見られてますか。
0:06:10	すみません。すみません私が見てるの 17 ページの中で器具 12 っていうところの下のところにある式
0:06:23	なるほどですねそうですね高齢だけだとちょっと確かにミスはいい可能性見づらいので。そうですね、ページと 14 あるんですけどそちら多分ちょっと抜粋でお送りしてないのですけれども、儲かってないですよ壁も 14 ページは入ってないですね、
0:06:41	いました。
0:06:43	申しましょうかと。そして 9 ちょっと今日別途お送りさせたほうで説明させていただいてもよろしいですか。わかりましたすみませんちょっとできるだけ口頭でわかりやすく説明していただければと思います。はい。
0:06:56	一応、はい。わかりましたのではちょっと急ぎコピーして参りますので、しばらくお待ちください。
0:07:04	了解しました。すみません。
0:07:09	規制庁のイワノです。お待たせしましたすみせんじゃあ資料がそろいましたので説明をお願いします。
0:07:15	すみません、9 電のテラタです。大変恐縮ですコピーしていただいて、
0:07:21	えっとですね 1 長杭させていただいた資料に式が入ってるんですけども。
0:07:28	この式 2.7 という式なんですけども、これはですね W というものが、そういうところの荷重で、
0:07:37	L が移動したまま摩擦した距離
0:07:41	申し訳ですね。
0:07:43	いつっていうのは硬さで物性によって決まってくるものを
0:07:48	ということで経営側とはケースということで、かつ書いています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:57	力と移動その摩擦摩耗した距離等に比例して物質の方に反比例するっていうのが物置セキ方式になってましては、これはいろんな文献に同じような形で出てきて先ほどのプラスチック摩耗摩擦のほうの摩擦摩耗の別のページに書いてあるような感じなんですけども。
0:08:13	ほんの漂着しきって、基本的な式になっております。
0:08:19	だぶりっていうのはですね土地赤字で書かせていただいておりますけども、全体の荷重として見たときにスモールダブリ大間 1 個当たりの荷重と考えた場合、
0:08:32	ある粒径における介在物の個数を得ることとしますと相撲谷部っていうのは、 $N-W$ っていう形になっておりますので、2.7 式にCOSMOWみたいなだぶりの配送代理を、
0:08:47	入れてやると 1 個当たりの摩耗介在物に対する摩耗量ということになってきます。
0:08:53	必要%濃度一定の場合にはですね、粒径変化により、下部層個数が例えば $n$ 倍になると。
0:09:01	するとします。
0:09:03	粒径が変化したいとして来個数が変わるけれども、
0:09:10	量としては減っていくという形になるんですけども。
0:09:15	Value振興たる相場赤字はですね $w' = \text{だぶり分のNRA}$ の
0:09:23	それっていうのはもともとスモールWの $L-1$ のあることということで、1 抗体のも、
0:09:29	融資が寄与する摩耗の量としては、 $N-W$ となるんですけども。
0:09:35	町の%も一定ということで、
0:09:37	戸数が要となった場合、
0:09:43	すみません戸数がある場合になった場合、
0:09:46	もう箇所 $N$ 倍になるということで、
0:09:50	1 個当たりの摩耗の量としては減るんですけども。
0:09:54	摩耗量としてはその全体いくあたりのですか。摩耗量としては $n$ 分の 1 になるんですけども相馬も火災の場合になるので、
0:10:02	摩耗量としては、
0:10:04	変化しないと。
0:10:05	いうことはこの式からわかると思います。
0:10:08	摩耗量はですね必要抜本予定ですね必要パーセントを一定の場合は粒径に依存しないということが基本式としてはあります。
0:10:18	まずそれが前提であって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:22	ただしですね粒径ほど小さくしていくと、ある程度のところで、
0:10:28	もうに対する効果がどんどん下がっていくということが一般的なポンプンでは書かれております。
0:10:37	すいませんちょっとマッカーサーあれなんですけども笹田の抜粋版っていうのは今手元にある感じになります。
0:10:45	規制庁のイワノです。させて提出していただいた佐田市の抜粋はお手元にあります。
0:10:51	凝灰ちょっとそっちを使ってお話をさせていただきますが、
0:10:58	前粒径が小さくなると、何でそういうことが起きますかということなんですけども。
0:11:05	今回産業アグレッシブ守っていくことでちょっとページで言いますと 148 とか 149 に、
0:11:13	すいません、その移行先ですね、150 ページ、
0:11:19	にあるんですけども。
0:11:23	時期なども小さくなっていくと、
0:11:27	摩耗分を今回でいうとテフロン <small>の</small> 摩耗分が削れてちっちゃな粒子にやっっていくという、その粒子が、
0:11:37	何ていいですか砂の粒子
0:11:41	より大きくなると、いわゆる業タクマもっていうものを今ずっと言ってラブうれしいじゃなくてももの同士が接触するよう着守っているモードに移行していくことで、摩耗量がずっと下がっていくっていうのが、
0:11:55	臨海隆起より小さいとの摩耗量が下がっていくという
0:12:02	右上になっておりますので、ちょっと我々もその最初の方。
0:12:07	考えたことと、
0:12:09	勉強させてもらってちょっと異なるのかもしれないんですけども基本的に粒径には依存せずに、摩耗量というのは一定と。
0:12:17	次の%濃度一定とかあの圧力とか、
0:12:21	圧力荷重とかですねそういうものが一定であれば、摩耗量としては基本的に粒径の依存性といってという正しい小さくしていくと、そういう臨界流K以下になっていくと、先ほど言ったような業者熊本という状況に移行していくので。
0:12:38	摩耗量がどんどん減っていくという形。
0:12:40	なっていくのが原理的な問題かのことだと思っております。
0:12:45	この本にはですね金属の摩耗の話が書いてあるんですけども。
0:12:54	ちょっとページで言うとですねちょっと
0:12:59	143 ページとかにあるんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:04	ちょっと受図 10-14 とかで見るとですね金属の硬さと臨界粒径の関係をちょっとにアグレッシブなんですけども。
0:13:12	こういう形になってるということで基本的に硬さに依存して臨界で受けてのは決まってきますということはあるので、二元だろうが3 現だろうが、すいません。今回プラスチックの箱の中入ってないんですけどもプラスチックについても理解できているものがある、それは当然硬さっていうのは決まってくるので、
0:13:29	3 元にしたとしても同じような値になるというふうに考えてちょっと今の記載にさせていただいておりますので、ただですねちょっと厳密性が確かにその
0:13:43	確実かって言われると半減と人間で完全に一緒に、さらに潤滑
0:13:49	による効果で下がるっていうところもこう考えてぴったり同じかというところもじゃなくて、
0:13:57	場所変わってくるのかなと思ってんですけど潤滑に応力降下差が大雪が下がる効果のほうが大きいと思ってまして今のちょっと記載にさせていただいているという次第であります。
0:14:09	すべてちょっと長くなりましたけど説明としては以上になるんですけども。
0:14:14	追加で何かあれば、
0:14:17	よろしくお願いします。
0:14:22	。
0:14:23	規制庁のイワノです。説明ありがとうございます。
0:14:28	すいません少々お待ちください。
0:14:37	規制庁のイワノです。お待たせしました。すいません。ちょっと2 点質問させていただければと思います。一つは、臨界流系っていうのがどういうふうに決まるのかっていうのを説明してください。まずそれについて説明していただけますでしょうか。
0:14:55	すいません九州電力のテラタです。
0:15:00	硫化粒径の決まりかけたなんですけれども、
0:15:04	澤田の資料を、のですね、ページの 150 ページもここでちょっと赤枠で記載させていただいてるんですけども。
0:15:14	すいませんちょっと逃げた産業の話がまじってるんですけど下げのほうだけになります。
0:15:21	3 ゲート上からですね。
0:15:25	この四角で囲っても4 行目なんですけども、3 現マグネシウム摩耗では、粒子径は漂着守る人の要はせっかくけ比べ
0:15:36	言葉は配ると住所高さが

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:40	OTCを決定するということになると、地震では臨界切り換えですね、このリストの業者がもう粒子の流出、
0:15:48	ということになっておりまして、この点はもう粒子が何かといいますと、
0:15:53	漂着という摩耗とさせていただきたいんですけども、摩耗していくと削れて今回テフロンですけどテフロン理事が削れますと、
0:16:04	私が削れるんですけども、それがあある程度の塊になって心と出てくると。
0:16:11	その粒子の大きさが少ない、入ってくるスリーブと砂の流出担当制比べした場合に、
0:16:18	出てくる粒子の大きさのほうが大きくなってくると。
0:16:22	津波による摩耗の影響が小さくなってくると。
0:16:26	というのが、
0:16:29	ありますんでそなんでその落ちてくる落ちてくる予定も粒子の大きさそのものが、臨界で受けてのを決めていると。
0:16:40	理論的なことにはなっております。
0:16:43	。
0:16:44	以上です。
0:16:46	規制庁のイワノです。この乙いる摩耗の粒子の大きさっていうのは、
0:16:54	どういうふうに決まると思ったらいいんですかね。
0:17:00	なんて言うんですかね、どうどういうどういう条件下だとどれくらいの臨界粒径になります。どう条件だところと落ちる摩耗へんっていうのがどれくらいの大きさになって、それによって臨界流径が決まります。
0:17:16	ていう説明になるかなと思うんですけど、ただどういうパラメーターが
0:17:22	そのままもうへんの大きさであったりとか、最終的には臨界流系っていうのを決めることになるんでしょうか。
0:17:32	九州電力のテラタです。
0:17:35	ちょっと待ってくれと。
0:17:41	とですね
0:17:44	ちょっとこのおんなじ本もですね別に全く別のページにちょっと入ってはいるんですけども。
0:17:50	結局そのかたさが、まず、
0:17:53	一つはあるとっております。
0:17:56	ちょっと本当に難しくなっていくと
0:18:02	方へ削れてもですね、すぐにぽつと落ちるんじゃなくて、ある程度の塊によってを持っていくという
0:18:09	あとはありまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:18:11	硬いほど、
0:18:13	その塊になりづらいと。
0:18:17	ということで、ちょっとこのプロットをしていくというのが定性的には書いてあります。
0:18:22	あとですね、潤滑っていう状態がなった場合には、
0:18:29	薄いちょっと施策の現場とか、
0:18:33	ちょっとなじみがないかもしれないんですけども起きる場合にですね今水をかけている場合と、
0:18:39	まだ何もかけずに切る場合だとかけてきた場合のほうは、
0:18:44	よく切れるというのがですね、何でそのそれは粒子がちょっとチーム構成からいくとですね、粒子がずっと成長する前ぽつと外れてしまうということで滑りやすく切り合いやすくなると。
0:18:59	っていう話ですので潤滑五級等その粒子の大きさというのがぼんとさ本当下がっていきっていう落ちてくる消費者ほど下がっていきってというのは、ちょっとこの本の中では示されているという形になっております。
0:19:14	で、今回のですねテフロン
0:19:18	そもそもその奥行き方向の
0:19:21	摩耗量というのがちょっと現在
0:19:24	提示させていただいてる摩耗量摩耗もともと書いたものになるんですけど、今書いてるものも半分ぐらいだと、奥行き方向の深さなんで少なくとも
0:19:32	その大きさよりは超えてないんじゃないかなということで記載させていただいておりました。ただちょっと
0:19:39	今回詳しく守ってという文献が見つかりまして
0:19:43	そちらの方が整備説得力あるかなと思ひまして、ちょっと輸送起きたとしても大きくなる方でしたので、そちらのほうに記載を変更させていただいたという状況になっております。
0:19:55	一応説明としては以上になるのですが、
0:20:08	規制庁の今野です。硬さとあと潤滑状態が効きますっていうそういう説明になるんですかね、まとめると。
0:20:16	そうですね。ちょっと要約するとそういう説明になります。
0:20:26	想定し、とりあえず説明については承知しました後、すいませんもう1点なんですけど、潤滑譲渡事務かつう状態でマイルド到着守っていくよう着火も大きいのが、
0:20:42	起こるのかどうか。そうですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:47	マイルド業っちゃくのもそうですね。すいません。ちょっとすみませんCBシビア量着摩耗が起こるのかどうかということとあとマイルド客も起こるのかどうかってこの二つについてちょっと答えていただけますでしょうか。
0:21:02	はい。9 電のテラタです。
0:21:05	シビア業着守ってというのはですね、基本的に全く潤滑がないドライの状態を物をごうコスト状態で、
0:21:13	出てくる摩耗等というふうに認識しておりますので、シビアからずっとも続けていくとですね前に移行していくんですけども、それでも結局自分自身の粒子が削った粒子が間に入って潤滑剤の役割をして、
0:21:28	マイルドになっていくというような形になっております。
0:21:33	今回、海水ポンプをちょっと考えますと、もともと水潤滑という状態です。潤滑剤が入ると。
0:21:41	ということですので実際にですね素直全く入れない状態で運転してもほとんど起きない。
0:21:48	というようなのがもともと性能でありまして、
0:21:52	なのでですね視野も発生すると考えづらいと。
0:21:58	なので国会ポンプで言いますと、起きるとしたら前摩耗、
0:22:03	という形で考えております。
0:22:08	長以上になります。
0:22:11	。
0:22:12	規制庁のイワノですね、一つマスターシビアのほうは起きずに、前でどの方が大きくて、それに
0:22:21	粒径が小さくなると前時お茶熊本に置き換わっていて、ここの論文に書いてあるペーパーに書いてあるような下がり方が日守りの下がり方をするっていうふうな説明でよろしいか。
0:22:38	はい、清田でそうなります。
0:22:50	規制庁のイワノですね、そっちました。すいません一つお待ちください。
0:23:34	規制庁のイワノです。お待たせしました。すいません。
0:23:38	いただいた資料の 150 ページへと右肩 100 左肩 150 ページのところの赤枠のところの
0:23:46	記載についてちょっと確認したいんですけども、
0:23:50	赤枠の上から 3 行目のところで、これに対していうところから始まっている 3 現アグレッシブはもうでは、これに対し半減アグレッシブ摩耗ではっていうところの一部についてちょっとお聞きしたいんですけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:07	今回の海水ポンプの場合でいうと、ここの文章の中でU粒子径っていう場で砂の話をしているのか、それとも、別の何かの話をしていくのか。
0:24:24	この粒子径っていうのは何をさせて粒子径っていうのは海水ポンプのこの場合に置き換えると何をさせているのかって言うのをちょっと教えてもらいたいということと同じように、今日着摩耗粒子っていうばれているものが今回のこの海水ポンプの場合だと。
0:24:41	という、何のことを説明しているのかって、あと最終的に下のところで粒子の高さがDCを決定することになるってあるんですけども、
0:24:56	粒子の高さっていうのは、何の粒子のどういう大きさのことを言っていて、それぞれによってDCが切った要するに何なりでDGが決定されるか楽器た海水ポンプのこの経営の場合だと、何でDGが決定されるかっていうの頃、その説明していただきたい。
0:25:16	んですけども、この文章についてちょっと海水ポンプの場合に置き換えてちょっと今のだものをそれぞれ説明していただければと思います。すみませんちょっと長くなりましたが、お願いします。はい。起電のテラタです。
0:25:30	まずですね。つまり相場粒子径割しか決定する因子と、なぜこの粒子径に関しては、改正ポンプアップするなど思っていたいただければいいと思います。
0:25:40	これに対して作業アブレーション摩耗では、粒子径は業かつ守る人のこの粒子径も砂
0:25:46	ております。
0:25:48	言葉を換えという所高さそのものがDCを決定するのを、この粒子の高さっていうのはですね、漂着摩耗粒子
0:25:56	の高さになってきます。ちょっとわかりづらいかと思うんですけども。
0:26:01	委員長、そういう内容になっております。
0:26:16	規制庁のイワノです。今日着摩耗粒子ば砂場んでしたっけ、ちょっともう一度その部分説明お願いします。
0:26:28	気量という形ですいません。確かにちょっと説明が抜けてたと思うんですけども申し訳ございません。供託守りさすがじゃなくてですね、テフロンの方と申していたいただければと思います。はい。
0:26:43	規制庁のイワノです。本当はテフロンどうで、
0:26:48	要するにテフロンの方さあによってはどれくらいの
0:26:55	硫周辺が発生するかが決まって掃流四辺の大きさっていうのが、ここで言うところの漂着摩耗粒子の粒子の高さ、
0:27:09	それがDCを決定することになりますっていうそういう説明になるんでしょうか。
0:27:18	はい。時でのテラタです。今の御認識の通りです。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:29	規制庁のイワノです。すいません。ちょっとお聞きしたいんですけど、今の説明だと
0:27:36	業着摩耗テフロンはその業着摩耗粒子のほうがええと砂の粒子よりもおっきくなると。
0:27:50	おっきくなると摩耗が
0:27:55	減る方向に行く。
0:28:00	ちょっとね、
0:28:03	ここすいませんここで書いてあるそのええと粒子径は業着守る流出との要は性比べて書いてあるのは、東京着摩耗粒子とあと数のテフラの住宅守る人砂の粒子があつて、
0:28:18	砂のほうが大きいと砂によって摩耗しますと、
0:28:23	テフロンのほうが大きいとF-のほうがテフロンに融着によって摩耗します。この理解はよろしいですか。
0:28:33	はいえっと9電のテラタです。おっしゃる通りです。
0:28:42	育ててテフロンは、
0:28:46	その北西比べて言ってるのはテフロン
0:28:50	何ていいですかね。
0:28:53	テフロンがテフロン粒子の大きさがあつて、
0:28:57	テフロン粒子の大きさが砂よりも大きい等、
0:29:06	摩耗の効果っていうのが、砂の当流の砂の摩耗の効果からテフロン摩耗の効果にテフロン漂着粒子の摩耗の効果に置きかわっていくから、
0:29:21	摩耗量が下がっていく現象が発生するっていうそういう実家良いんでしょうか。
0:29:29	はい休憩を出す
0:29:32	おっしゃる通りの理解になります。
0:29:35	そうすいませんそういったときにちょっと質問なんですけどます砂で。
0:29:40	テフロン農業着砂の摩耗でまずテフロン今日着摩耗粒子が発生しますと、そういった時に砂の粒径よりも、おっきな
0:29:49	テフロン
0:29:51	当漂着摩耗粒子が発生するんですかね要は砂と同じような大きさ、
0:29:58	以上の文教着合流して起きるのかなっていうところの背中成長するとかそういうことなのかそれとも何か別の説明があるのか。
0:30:07	すみません。はい。はいどうぞ給電のつけだったんですけども成長するっていうようなことになると思うんですけども。
0:30:15	実際のですね削れ方を見ると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:20	今回の
0:30:22	ppmの件。
0:30:24	濃度の実験の削れたテフロンを見ると、今の記載している委員会から半分ぐらいと。
0:30:31	てるということ与实际、それ裏返すとですね、その深さ方向にあるんですけども。
0:30:37	その深さを超えるような、少なくとも密集っていうんですかね農業着て
0:30:43	このこと繋がっていくっていうことは起きないだろうっていうのを考えると思っ まして、それよりも二倍ぐらい大きい目の当たりですので、
0:30:53	臨界流系としては妥当なのかなっていうふうには思っておりますので、それよ り大きいものが発生するかというと、粒径がどんどん小さくなると、おそらくそ ういうのは出てくる状況が出てくるかもしれないんですけども、今回水潤滑で すね人口は非常にいいので。
0:31:13	感覚的に見るとちょっと考えづらいなんていうのはあるんですが、ちょっと今、 参照して文献とかを踏まえて今のちょっと数字を書かせていただいている状況 であります。
0:31:32	規制庁の今野です。すいません少々お待ちください。
0:31:40	はい。すいません規制庁の関ですけども、ちょっと時間を名になってしまうよ うな感じがするんですけども、そこのところはちょっと今日やるというところ について御了承いただけますか、一応ちょっと確認させてください。
0:32:05	九州電力の原子力発電本部ですか、こちらは大丈夫でございます。はい、わ かりました。ちょっと時間がかかるかもしれませんが、少しお時間ください。
0:32:15	承知しました。
0:32:21	規制庁の伊ワノです。お待たせしましたすいませんちょっとまずドライに限った 話で確認したいんですけど、例えばその図の 149 ページの図の 11.9 のところ の、この丸のほうのドライのところの
0:32:37	線の話をしたいんですけども、
0:32:41	そうですね。
0:32:44	いや、すみません、ちょっと待ってください。まずすいません 11 枚ものをトライ ボロGの教科書の図の中で、当図の 10 図の 2. 12 の中の括弧Bというところ で 3 現摩耗の話をしていると思うんですけど。
0:33:02	ここでコート何っていう面がそれぞれあると思うんですけど、これ一応ちょっと 念のために確認として、その高の方が主軸なのかとテフロンなのかで何の方 が主軸なのかということなのかっていうのをちょっと一応確認させてください。
0:33:19	はい、9 電のテラタですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:22	項のほうが主軸になっております。エナミの方がテフロンということになってます。
0:33:34	。
0:33:35	はい、規制庁のイワノです。ありがとうございます。
0:33:38	ちょっと
0:33:47	。
0:33:49	はい、規制庁のイワノです。
0:33:51	すいません。
0:33:54	ちょっと待ってください。
0:33:58	規制庁のイワノです。すいません、ちょっと続きまして同じ図の受aと2-12-Bのところを確認したいんですけども、この硬質硬質粒子っていうのが今回、海水ポンプで言うところの砂粒子ですと、
0:34:14	で、砂粒子が主軸とあとテフロンの間に砂粒子が入って主軸がテフロンの軸受に当たるときに間に入っているこの砂粒子がテフロンのところを削りますと、
0:34:31	それによって業着摩耗粒子が発生するっていうふうに理解しているんですけど、そのプロセスとしてはまずそれでよろしかったでしょうか。
0:34:42	はい。時でのテラタですと認識の通りです。
0:34:47	承知しました。その時にその業着摩耗粒子っていうのは、どういうものか、例えば何か
0:34:55	え一つですとね大間粒径の特徴であったりだとか、
0:35:03	そうですね、今日着目。
0:35:06	すいませんちょっと供託摩耗粒子っていうものが
0:35:12	そうですねのちょっと説明をしていただけますかその例えば粒径であったりだとか、高湿砂粒子との大きさの関係であったりだとか、
0:35:23	すみませんちょっと説明をお願いします。
0:35:27	9電のテラタです。業務着守りUCのですね、どういうものか粒径とかを
0:35:35	厳密に説明することはちょっと非常に難しいんですけども。
0:35:40	多い一ついえるのは、少なくともモーステール深さ
0:35:47	も超えることはないのか、関東などと思ってます結局凝縮というのはどんどん
0:35:54	1ヶ所削ることによってそれが切り離されずにどんどんたまっていくようなイメージになっていくので。
0:36:03	摩耗量として実際に出て来話されている。
0:36:06	入居超えることはないような粒径かなと考えてはいます。はい。
0:36:13	徳島でそれぐらいしか言えないんですけども、
0:36:18	以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:28	規制庁のイワノで一つ思ってください。
0:36:33	すいませんニシウチですけど。
0:36:36	ちょっとすみません若干ついていけない部分があるかもしれませんが、1個ずつ聞きたいんですけど、今ちょっと説明のあった業着摩耗粒子っていうものは、この硬質粒子っていう今回の会本で言うとなあによって、
0:36:54	テフロンが削れまあすとんで、それはいわゆるなんか進まと同じように、何かその異物として何か流れるというわけじゃなくて何ていうんですかねテフロンにくっついたまま、
0:37:09	要は切り離されないっていうことになるんですか。
0:37:15	すいません給電のテラタです。ある程度の大きさになると切り離される、それですいませんそれを性そこがですか。成長ということで、なるほどなるほどでそのセーフどこまで成長するかっていう中臨界点みたいなものもあるんですかね。
0:37:32	いや、結局それはもう実験で脱する粒径をもとに考えるしかないのかなと大手のすべて同じ大きさになるとは限りないので、臨界流系の実際の
0:37:45	今回詳しく論文とかを見て、
0:37:48	今決めてやるのが一番いいのかなと思うんですけども、の実験、今回の実験結果だけ見ると、少なくとも片方向に削れた量を超えて成長するとは考えづらいなと考えておりますねとちょっとちょっと今の説明を交換中縦方向っていうのは何方向の話はどういう話が字句の
0:38:09	に対して字句の警報なんですか内径側に固結れていくんですよね。
0:38:15	で、その深さが今、
0:38:19	提示している臨界事故が半分ぐらい。
0:38:22	なのでそれを超えて成長するっていうのを考えづらいのかとは思ってます。
0:38:29	はい、そうそういうこと内径っていうか径方向っていう理解ですよ。単純にそうですね。で、
0:38:36	ちょっとまた先に効いてくることはない、この砂粒子こうして粒子等を上程業着摩耗粒子の経営の大きさっていうのは何かさっきの話を聞くと、多分その砂粒径が大きいほうが、
0:38:53	ただめり込む量も大きいので、
0:38:56	農業着摩耗粒子の発生する業者かも粒子の径も大きくなるっていうのが何か多分ロジック的にはそうなのかなと思ったんですけど、ただ、結局、切り離される。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:10	までは合いは切り離されて初めてなんか砂と同じような状況になるわけですね。その切り離される成長する量っていうのは多分実験量とかである程度臨界点が決まっている。
0:39:23	ってことなんですかね。
0:39:25	だからさはいそうですね。おっしゃる通りだと思いな粒径がどんなにおっきくでもちっちゃくなったとしても、いわゆる成長し切って最終的に砂と同じような異物濃度になる砂と同じように異物になる。
0:39:37	時にはもう臨界臨界点が多分減じけれどが決まっているだろうっていうことなんですよ。
0:39:44	そうだと思ってます。あれですかね 150 ページで言ってるなんか粒子径は漂着摩耗粒子間い合わせたけ比べて言ってるじゃないですか、これは今の説明当てはめると書い本の中に
0:40:00	10 ミリとか 30 ミリとか 50 $\mu$ mとかどんな粒径が入ったとしても、結局業着摩耗粒子として最終的に流れてくる成長し切って切り離される粒子径っていうのは多摩川なくて、そうやって考える
0:40:15	当漂着摩耗粒子径っていうのがDCを決定するって言ってるんですか。
0:40:21	そうなりますんでそこがちょっとまだよくわからないのですね、砂粒子東京着摩耗粒子で
0:40:27	業着守り融資がそのままうに支配的に起因する方もそういう説明になるんですよ。
0:40:36	摩耗に支配的というか邪魔していくって項目ももうどう変わっていくということだと思いますわかりやすいのが馬堀などが考えてもらったらわかるんですけども、自分自身の目素材であれば、もっとほとんど
0:40:51	ほとんどが大分さ低減されていくようなイメージになってきますので、
0:40:55	同じそう。そうすると業着摩耗粒子はそもそも気にしなくていいってことですか。
0:41:02	そうですね、40%粒子があると申すと生検っていうかどンドンしなくなっていくっていうイメージだと思います。
0:41:10	うーん。
0:41:14	そうすると、
0:41:16	そうするとですよ。
0:41:18	そうすると、リンク
0:41:22	かわいい図の 10. の違うか。
0:41:26	149 ページの
0:41:29	このする

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:32	何か臨界、
0:41:34	もう
0:41:35	点みみたいな感じで言ってるところ、ある程度その砂粒径が大きくなるとこれ以上は申しませんっていうか何かその臨界ペナルティっていう部分は
0:41:43	これを
0:41:46	何かやっぱりそのそこがよく理解できてないんですね。ちょっと待ってもらっていいですか。
0:41:53	はい、了解しました。
0:41:56	すいません規制庁のイワノです。お待たせしましたすいませんちょっと。
0:42:00	確認させて理解ここ同等とどっちの理解、ちょっとこういう理解で正しいか、ああ、すみません、ちょっとまた確認させていただきたいんですけど、
0:42:12	えっとですね、
0:42:14	臨界粒径を超えたところの範囲で硫削れ量っていうのが摩耗量っていうのは粒径に依存しなくなりますと、その領域がどうして
0:42:31	起きるのか。
0:42:32	なんで粒径に依存しなくなるのかっていうところをちょっと確認したい。どういう現象ではそういうことが起きるのかというのを確認したいんですけど、
0:42:43	おっかい粒子がある場合とちっちゃい粒子がある場合と二つのパターンに分けて考えたときに、
0:42:53	おっかい流CO
0:42:58	右であってもちっちゃい粒子であっても、
0:43:06	かかる力は同じで、
0:43:09	かかる力が同じだと結局削る量って削る量っていうのは、
0:43:20	なんて言うんですかね。
0:43:25	かかる値からが同じであるとき量は同じになるので、一定になります。
0:43:36	ちょっと、
0:43:41	すいません9電のテラタですけど。
0:43:45	今の内容に関しても、こちらちょっと何となく旺盛たことはわかったんで説明してもよければさせていただくんですけども、すいません、お願いします。
0:43:56	トラブル時の学会が出してる。
0:44:02	の一状態監視と信頼の主旨が書いてあるやつで赤字でちょっと書かせていただいていることはまさにその内容なんですけども。
0:44:10	まずですね質量%モードをは一定と考えた場合、
0:44:16	もう面ですね。
0:44:21	大きい粒子がありますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:24	例えばその大きさの半分の粒子が対比で比べるとした場合は、
0:44:29	小さい粒子のほうは二倍の数ないといけないわけですよ。摩擦面に対してですね。
0:44:37	そうすると1個1個にかかる荷重としては、
0:44:40	2分の1になってくると。
0:44:42	大きいほうは1個1個にかかる荷重は1同じ最初の荷重であると。
0:44:50	じゃあそれで削れていくと大きいものが確かに削れるんですけども、Cさんはその数がありますので、
0:44:58	削り方としては一緒になるっていうのがもう基本の現地になってます。
0:45:05	すみません、規制庁のようなのです。
0:45:08	もう一つの資料の142ページの赤枠のところの説明っていうのは、それは何か今説明していただいた内容等矛盾はない。同じことを言っているっていうことなんです。
0:45:23	たくさんプラスチックのほうを確かリスクの方ですね。
0:45:26	CAP4 ちゅうプラスチックっていうかすみませんさせた市の方ですね、笹田ですかね、ちょっと場所です。
0:45:34	刃物
0:45:36	のところの、そうですね同じ説明になりましては、これ、すみません、この内容とちょっと説明していただけますか。例えばその相似形ならとかっていうところをとかですね。
0:45:51	ちょっと難しいかしんとこなんですけども。
0:45:54	そもそもの
0:45:58	考え Cutter 組織のです。そさっき私が話したス式もですね署名みたいなことはある程度できるんですけども、係数の部分とかちょっとまとめ方は結構難しく、そこら辺は、
0:46:14	難しいんですけど、仮にですねおんなじ
0:46:20	粒子がずらっと行ったとした場合、
0:46:23	今まさにちょっと話した通りなんですけど。
0:46:28	全体にかかる荷重が同じであった場合、
0:46:32	2セット1個1個にかかる荷重っていうのは、
0:46:39	数が少なれば大きくなるし。
0:46:42	数が多ければ少なくなると。
0:46:45	数が多い場合は、
0:46:47	小さい刃物ということで数が少ないFっていうのは、大きいものでかかっているんですけど、結局めり込みぐらいは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:57	大きなもの放棄んですけども。
0:47:00	数は小さいほうもののほうが大きいので、
0:47:04	摩耗量としては一定になってくると。
0:47:06	そういう感じの説明になってきますね。
0:47:12	ちょっとまだ
0:47:14	はい。
0:47:15	ちょっとすいません、1項、こちらからはちょっとご提案っていうか、ちょっと伺いたいというかご相談なんですけども。
0:47:25	今臨界流系の値が本当に今提示している辺りでいいのかっていうところで、ちょっと待っているようであれば、我々が今回実験に使ってるのっていうのはですね、今提示させていただいて臨界粒径に対して規制庁スズキです。
0:47:42	ちょっと行けば我々が理解しようとしてるところ以外のお話をまた突っ込まれてしまうと、また今の理解がなくなってしまうので、
0:47:51	すいません1個ずつですね確認していった最終的にその臨界粒径の話に辿り着きたいと思って今聞いているので。
0:47:59	そこをおつき合いいただけ内かなって先ほど関が言ってたんですけど。
0:48:05	わかりました了解しました。
0:48:08	規制庁続けてちょっと
0:48:10	今の説明を聞いてちょっと
0:48:15	我々が今、
0:48:17	勘違いを大きな勘違いをしたかなっていうのを、
0:48:22	もうちょっと私が
0:48:23	気づいたのでそれが正しいかどうかちょっとまず聞きたいんですけど。
0:48:28	今そのドライの状態で
0:48:34	摩耗量っていうのが砂の粒径に関係ないという説明を
0:48:41	されていてそれは基本ですというふうにさっき言われたので、笹田の142ページの下図の10-12号、
0:48:51	見ていると、今お話しされてるのは、CとBの間のところをずっと説明されて、
0:48:58	いたというふうに理解したんですけども、それはそれでよろしいですか。
0:49:04	はい、それはその説明になります。規制庁する別をすると。
0:49:09	BからAっていうところについては、それとは違う話が出てくるという
0:49:16	ことになるということですか。
0:49:19	はいそう認識ですねええと。
0:49:23	ちょっと仮想的な話しますと、
0:49:26	CからB-A領域で出てきた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:32	テフロンが削れたものですね、これが、
0:49:36	削れて剥がれたどっかいつちゃって。
0:49:39	存在しないものだとする。
0:49:42	そうするとこのし、
0:49:44	CからBってのはずっと小さい粒径でも同じ結果になるはずだというふうに理解してよろしいですか。
0:49:58	そうですね等をして考え方としてはそうなってきますのではい規制庁鈴木そうするとやっぱり削れたテフロンが
0:50:07	剥がれて、
0:50:12	硬い砂
0:50:15	学校、テフロンを削る。今言った説明された原理ですね。
0:50:21	原理を阻害してくる。
0:50:24	ポイントが、
0:50:25	臨界粒径になるんだっていう、そういうことなんですかね。
0:50:30	おっしゃる通りですはい。
0:50:32	なるほど、なるほどな、少し何かイメージが湧いてきた感じでちょっと待ってください。こちら側で、
0:50:39	皆同じイメージがわいたのかどうかちょっと聞いてみるので。
0:50:44	了解しました。
0:50:49	規制庁のイワノです。すいませんお待たせしました。今ドライのところの確認をずっとドライの場合の確認をずっとさせていただいて、ドライについては一定程度理解ちゃんとできますと、ちょっと次に潤滑剤が入った場合の
0:51:06	ことについて確認したいんですけど、その図の
0:51:12	そうですね、ちょっとこの資料だったか、資料の中ではドライと潤滑剤がある場合送られている比べたときに、潤滑剤があるほうがええと臨界粒径が小さくなる方向に
0:51:28	なるというふうな説明だったんですけど、小さくなる理屈っていうんですかね、メカニズムっていうのをちょっと説明していただきます。
0:51:38	はい。9電の手だったんですけども。
0:51:41	一応ですね
0:51:44	今日、この本の中をずっと読んでいくとですね、
0:51:51	道路
0:51:52	小さくなっていく理由としては、ちょっと結局業着摩耗粒子の大きさっていうところに関わってくるんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:01	10月入った方が作業着氷システムは外れやすいと成長しづらいついていうのがこの論文、
0:52:11	というか本の中でまとめられてまして、その効果によって、
0:52:15	潤滑油潤滑かでは議会粒径がどんどん小さくなっていくっていうふうに考えてられると思ってます。
0:52:29	規制庁の今野です。ちょっと少々お待ちください。
0:52:36	規制庁の伊ワノです。すいませんちょっと確認なんですけども、その潤滑剤の効果によって旺盛系統状況長尺守る粒子の大きさっていうのを住宅守り融資っていうのが甲の大きさが高成長しない。
0:52:54	ところの時メカニズムっていうのは、それは何か論理的に何かメカニズムがわかっているようなものなんでしょうかそれとも実験的に小さくなるっていうことがわかっているっていう程度の理解になるの説明になるんでしょうか。
0:53:13	9電のテラタですけど、もう
0:53:17	そうですね。
0:53:22	結局その農業着守りしか成長する理由っていうのがですね。
0:53:27	物と物が強い圧力で押し付けられると。
0:53:32	こうくっついていくと。
0:53:35	いう性質なんですねまあちょっとを本当に難しく考えると分子レベルで、
0:53:40	そういう事が起きてると。
0:53:43	で、間にですね結局潤滑差異が入ってくると。
0:53:48	その多くつこうとする間にです真水でもいいんですけど溝淵崇入ってって、
0:53:53	それを阻害するんですよ。
0:53:56	そういう一応考えはあるんですが、あるんですけども。
0:54:01	それも実験的にわかっているということにはなってると思ひまして、
0:54:07	ちょっとすみません分子的な話を言ったんですけど、わかり易い生物切る時に水があるかないか、どちらの方が切れるか削るときでもいいんですけど。
0:54:18	そういうのを考えてもらうと。
0:54:20	来水とかがある方が傷切れやすくなる。
0:54:24	ということは、
0:54:26	漂着孫粒子の成長が阻害される側になると。
0:54:30	というようなイメージのほうがわかりやすいかもしれません。
0:54:34	そうでちょっとこれで伝わったかわからないんですけど、いかがでしょうか。
0:54:44	規制庁の伊ワノです。説明ありがとうございます。少々お待ちください。
0:54:51	。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:42	規制庁の伊ワノですすいませんお待たせしました。ちょっとぞ次に今資料の中では臨界流系を説明しようとして五霞この辺りでこのあたり、この辺りだっということ説明書としてるんですけど。
1:00:58	ちょっとまた確認なんですけど、3 減で
1:01:04	テフロン <small>テフロン</small> の臨界流系を調べたデータっていうのはあるんでしょうか。要は今回の海水ポンプの場合に、そのまま使えるようなデータっていうのはあるのかどうかっていうのを回答教えてください。
1:01:18	9 電のテラタですけども 3 減のほうでちょっと探してみたんですけど、今のところない状態になっております。はい。
1:01:27	。
1:01:28	規制庁の伊ワノです。ありがとうございます。次にですね、今回その九州電力の方で 3 現アーク <small>アーク</small> この海水ポンプのような 3 件の場合の臨界粒径 <small>臨界粒径</small> っていうのをどのような理屈で、
1:01:43	何ミクロンだっというふうに説明しようとしてるのかっていうのをちょっと最初のほうにも少しは説明してたかもしれないんですけど、ちょっともう一度通して説明をお願いします。
1:01:56	切れのテラタです。少々お待ちください。
1:02:09	えっとですね、笹田 <small>笹田</small> のほうですねちょっと
1:02:14	多くJAS <small>JAS</small> っていただいているんですけども。
1:02:19	それで 150 ページ、
1:02:21	赤枠 <small>赤枠</small> の部分からなるんですけども。
1:02:25	まず笹野 <small>笹野</small> のほうを見るとですね、2 件に係る 3 件の放火
1:02:31	連携委員会 <small>連携委員会</small> で決定としては若干大きいサイズとして現れてちょっとここ若干って書いてあるんですけども、本当に若干ということで、
1:02:40	道路の場合は、同じ地体鉄の場合が 20%ぐらい、10 ミクロン <small>ミクロン</small> ぐらいちょっと変わってくるぐらい大きくなっていくっていうような形になっておりますので、
1:02:56	同じハザード <small>ハザード</small> のほうもですね、149 ページGにあるんですけども。
1:03:06	赤枠でちょっと囲ませていただいていること認可粒径 <small>認可粒径</small> の定義は時無潤滑より小さくなるということで握りから下げのほうが若干大きくなるんですけども、先ほどちょっとお話しさせていただいたんですけども、潤滑かではですね、どの粒径が下がっていくというふうに考えると、
1:03:24	単純にですね人間をですね産業に置き換えても、問題ないのかなというか、
1:03:31	先ほどのお話ですけど硫潤滑 <small>硫潤滑</small> がですね、非常に激しいので、
1:03:38	今この実験でやってるような状況は等も本当ちょっと濡らしたとかそういうレベルの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:45	やつなんですけれども、今回は非常に海盆のなかった潤滑が激しくてばんばん逆も粒子の場に流れていくので。
1:03:54	つまり会計としてはどんどん下がっていきだろっていうことを考慮して、
1:03:58	3 現で大きくなるんですけど人間より潤滑の効果では下がるっていうことも含めて、
1:04:05	その潤滑のほうの影響が大きいとボンと下がるというところを考えると今の2件と同じ値でちょっと記載させていただくということで今記載はさせていただいております。
1:04:19	はい。
1:04:20	規制庁のイワノです。少々お待ちください。
1:04:28	規制庁のイワノです。
1:04:30	水文お待たせしました。ちょっとすみませんまず確認なんですけど。
1:04:34	143 ページのところで、
1:04:41	すみません 104 で 349 ページのところで、どうの潤滑剤がある場合とドライの場合との実験結果のデータが図の 11-9 っていうところに書いてある。
1:04:57	ですけど、この潤滑したときの実験状況っていうのは、
1:05:03	単に使命させたものを詰められた状態で超している状態なのかそれともこの海水ポンプの場合と同じように水を流して、
1:05:16	発生する橋脚摩耗の粒子が押し流されてなくなっていくような効果、そういう効果があるようなそういう実験体系で実験したものなのか、
1:05:35	ちょっとこの実験、この 11-11-9 っていうところのその実験の結果っていうのが、のその潤滑効果があるときの実験の結果というのがどういう実験体系語ったかっていうところをちょっと説明していただけますか。その海水ポンプの場合に、
1:05:52	適用できるかっていう観点も踏まえてですね。
1:05:56	はい。9 電のテラタですけども。
1:06:00	ほぼですね元の論文搬送しますと、
1:06:03	もう海水ポンプのときと違いまして、
1:06:07	あぐらを塗っただけのような状態でやってる感じことになります。
1:06:13	なので科医ポンと違いまして自分の水でずっと流すというような状況じゃないので、より粒子が成長しやすいような状況なのかなと思っては逆守るしかですね。
1:06:28	それとしやすい状況なのかなと思っておりますので、開口に関してですね、ずっと流れていきますので、業態守る市がその分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:36	流されていってしまいますので、臨界流としてはもう、もっと下がっていくんだらうと思ってるんですけど。
1:06:43	一応にぎわう人間のドライの辺りとしては今記載させていただいてるということになります臨界流影響ですね。
1:06:51	実験の仕方としては以上になります。
1:06:54	。
1:06:58	規制庁のイワノです。承知しました少々お待ちください。
1:07:05	規制庁すいませんお待たせしました規制庁のイワノですと、すみません、ちょっと今までいろいろ説明を受けていって、今九州電力の資料では臨界流系っていうのを設定してそれよりも大きいので、
1:07:22	摩耗が1 摩耗量は粒径によらず一定になるんですけどっていうふうな説明をしているんですけども、それはやはり
1:07:34	臨界流系っていうものがあって、それよりも大きいのでっていうそういう説明になるんですかね、それともそうじゃなくてや臨界流系っていうものは、今回、海水ポンプのような体系では、
1:07:49	起こらない、合わないんですね、そういうことは起こらないんです。
1:07:54	なぜならば、
1:07:56	海水ポンプの計では水が流れていって、
1:08:02	今日着摩耗のテフロン粒子っていうのは、背成長して発生したとしても、すぐ流れていって、
1:08:13	流れていってしまうので、そもそも供託発生した供託摩耗流出によって摩耗が阻害されて7面になるような領域っていうものはそもそも発生しなくて、そもそも
1:08:30	今日タクマも粒子の阻害の影響みたいなものはなくても、摩耗の影響は留置によらず一定だ。
1:08:39	臨界流系みたいなものによってこの領域が減少が変わったりすることは何も無い。
1:08:46	ノード濃度だけの話なんですけど関係するものなんですっていうそういう説明がしたいんですかね、ちょっとすみません、長くなったんですけど、やはり流下粒径というものがあって、それを説明したいのかっていうところとなのかどうかっていうところちょっとセンターの回答をお願いします。
1:09:03	すいません起電のテラタなんですけども。
1:09:07	定性的な話をしますと後者になりますね。もともとその粒径の大きさがですね問題になるとは考えてなかったんですけども、それをですね我々定性的に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:09:20	というかメーカーもそうなんですけど、定性的に考えてやってたんですけども、相当程度的な話になってくるとですね、どうしてもこの話をせざるを得なくても次回データ等も変わって示さないとわかりづらいので今ちょっと
1:09:31	定量的なのという意味で入れてはいるんですけどもともとは後者の説明でもう臨界流系そのものと最低であれば、粒径に依存しないっていう形で、
1:09:43	実験の計画とか立てさせていただいたということになります。
1:09:59	規制庁の今野です。お待たせしました。所で説明については、後者のほうで後者のほう考えているということで承知いたしましたので、そうしましたら、その後者のほうの説明になるような資料に、
1:10:17	今回のこの補足説明資料を修正していただいて、また提出するようにしてください。
1:10:26	すいません九州電力の方、よろしいでしょうか。
1:10:30	九州電力のテラタですけども、了解しました。そうするとですね今記載させていただいている。
1:10:40	粒径の臨界流系の話とかはちょっと
1:10:46	削除するような形にして定性的に先ほど
1:10:51	述べさせていただいたような
1:10:53	説明をしていくのかなあという。
1:10:57	認識なんですけども。
1:10:59	ちょっとどのようなイメージかっていうとまずさっき資料見てからかもしれないのですが、
1:11:17	。
1:11:34	。
1:11:37	すいません規制庁ニシウチですけど、まず定量的なあれに説明をされようとしているってところはまず指定は理解をしたつもりなんですけど、結局、今資料で言うと1-18 ページですか。
1:11:53	ところで定量的だっていう説明されてるんですけど、このマスキングしているこの
1:11:59	何mmという値があるじゃないですか、結局ここを2を示すために、
1:12:06	道筋として結局定性的な説明を挟み込んでますよね、先ほど
1:12:12	この値っていうのは、二元のドライの実験データですと、そこからまず3減に行くにあたってほかの材料のデータを踏まえると、ある程度増加はすると考えますと、ただ、結局それはドライの条件下で循環っていうことを考えるとそれよりも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:32	小さくなることは考えられまして、結局そこ定性的な説明になっちゃってるじゃないですか。だから、定量的な説明をしようっていうスタイルはわかるんですけど結局今の説明も定量的なものになってないとまず思っていますと、
1:12:45	とかとまず理解をしました。で、その上で、そもそもさっき岩田さんがおっしゃってたような最初当初説明をしようとしていた、先ほどの言葉と構成の説明ですかって言うものでいろいろと丁寧に説明をされて我々の確認をすると。
1:13:02	その定性的な説明で何か十分利があるなっていうのは感じましたので、そういった意味で、その後者の説明、そもそも、
1:13:10	臨海とかそういう名前の効果というのはそもそもなくて、一定程度の、要は粒径っていうものがそもそも寄与しないんだと、今回のケース、海水ポンプのこの収束とか不安収束というか流れの速さとか考えると、
1:13:26	一定のRZ異物濃度を考えればいいんだと、そういう定性的な説明としての理解をしたつもりです。
1:13:33	何かもしあの私の言ってることになんかちょっと認識にそこがあれば、お願いしたいんですけど、何かありますか。
1:13:40	起電のテラタです。
1:13:42	もう迷うはわかりました。
1:13:45	ちょっとそういうふうにはですね補足は変えさせていただこうと思います。はい。
1:13:55	はい、はい。
1:13:57	規制庁のイワノです。承知しました。はいではすみませんちょっと資料が五つぐらい
1:14:06	すみません。すみません。ちょっと待ってください。
1:14:12	ありません規制庁の関です。一応わかりましたもちょっと今話聞いてれば、定量的に攻めとあわせメタンだけど。
1:14:27	そこで攻め切るのはなかなか難しかったということがわかったものと、あと、ちょっとこの論文等々を見させて
1:14:38	もう説明を詳しくいただいた中で、
1:14:46	還付今回の海水ポンプの環境下ではなかなか臨界研磨でいっていうことは
1:14:54	ないんであろうということが理屈を持っているというふうに私としては理解をしましてこれについては今日いる4人チームの4人担当の4人一応共通の認識ですので、もう一つ、この話が全部無駄になった。
1:15:11	どうも私は思ってませんので、最後そろそろまとめるっていう意味で、その辺あたりでまとめてもいいのではないかという意味で私としては申し上げましたので念のため申し上げるとするのが1点です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:27	それからスケジュールについてはいろいろかねがね聞いておりますけれども、最後ここだけが残っていてそこ以外についてはその審査結果を取りまとめるということは私たちもしていてもそこは本当終わりつつありますので、
1:15:44	最後まとめていただくというところについては直ちに資料としてまとめていただいて提出をしてフィックスという方向にさせていただきたいと考えていますそれを
1:15:56	が送れば遅れるほどこの後の手続きというのができなくなりますので、
1:16:03	そこは御承知おきいただいて対応の方をお願いします。私から以上です。
1:16:11	9電のテラタですけども。はい無駄になると思ってませんのはい問題ありません。そこで記載についてはですねちょっとした早い段階でできるだけ修正して1回お送りさせていただければなと思っておりますので嘘もスケジュール感で、
1:16:27	ということでよろしくをお願いします。規制庁石油承知しました。私から以上です。
1:16:37	規制庁のイワノです。すいません、最後に九州電力から何かあればお願いしますも何もなければこれで終わりたいと思います。
1:16:45	九州電力の金子です。今日は夜遅くまでどうもありがとうございました。我々としても、ちょっと早急な認可というのを希望しておりますので、早急に資料を修正してお出して、
1:17:00	そしていただきたいと思ってます。要は本当にありがとうございました。
1:17:05	規制庁の今野です。ありがとうございました。それでは本日のヒアリングおり終わりたいと思います。はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。